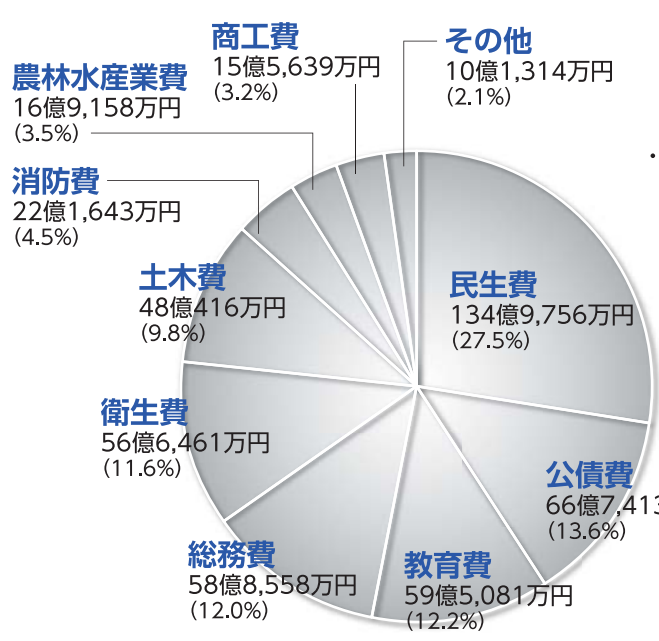
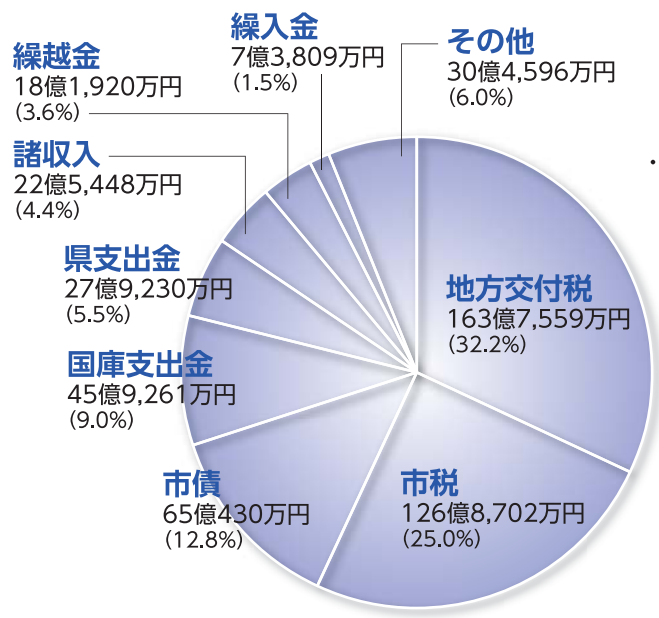




酒田市の財政状況

平成24年度決算がまとまりました。市民の皆さんの税金がどう使われたのか、財政状況がどうなっているのか、その概要をお知らせします。また平成25年度の予算執行状況も併せてお知らせします。

1 平成24年度 普通会計決算



【歳入】

【地方交付税】	国税のうち、所得税、法人税、酒税、消費税およびたばこ税のそれぞれ一定割合の額を財源として交付されるお金
【市債】	返済金が一会計年度を超える市の借金
【国庫・県支出金】	国や県から用途が特定されて交付されるお金
【繰入金】	基金を取り崩したお金

【歳出】

【民生費】	福祉、保育所などの経費
【公債費】	市債の元金、利子を返済するための経費
【教育費】	教育委員会、小・中学校、社会教育などの経費
【総務費】	財産管理、電算業務、税の賦課・徴収などの経費
【衛生費】	健康診断などの保健関係やごみ収集などの環境保全に要する経費

●お問い合わせ先
 市財政課 財政係 ☎ 2615780
 市立八幡病院事務局 ☎ 6413311
 市水道局 水道部 管理課 ☎ 2211811

18億6千万円の黒字決算(形式収支)

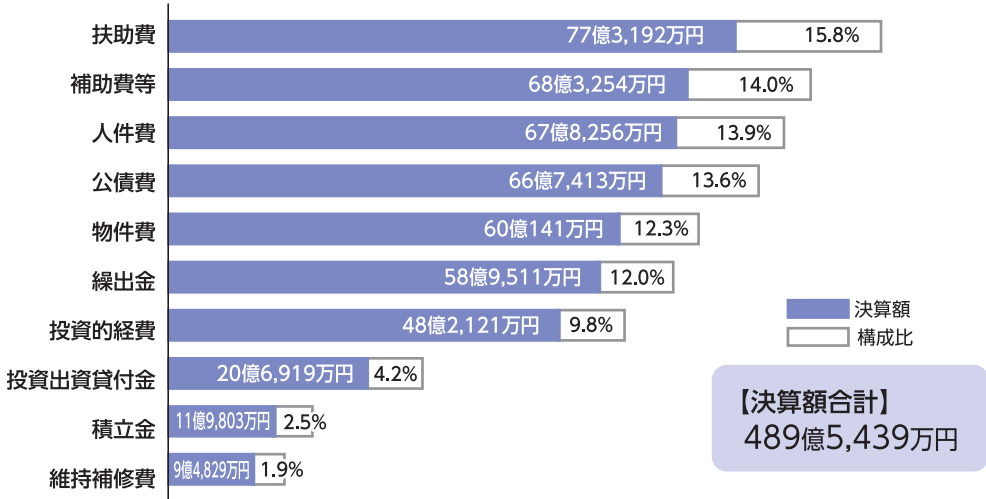
普通会計(行政運営)の基本的な経費をまとめた一般会計に診療所事業特別会計、駐車場事業特別会計を加えたものの平成24年度決算は、歳入総額508億955万円、歳出総額489億5千439万円で、差し引き18億5千516万円を平成25年度に繰り越しました。

平成24年度の市政運営の大きな柱である積極的な経済・雇用対策、心豊かに暮らし続けられる街づくりの推進による施策や、東日本大震災の影響などにより依然として低迷する地域経済への対策、暴風や豪雪による災害復旧を行うとともに、積極的に行政改革に取り組んだ結果などにより、決算規模は前年度を下回りましたが、翌

◎決算収支の状況

	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	形式収支 (C)=(A)-(B)	翌年度に繰り越すべき財源 (D)	実質収支 (E)=(C)-(D)
平成24年度	508億 955万円	489億5,439万円	18億5,516万円	2億3,380万円	16億2,136万円
平成23年度	535億9,040万円	517億7,279万円	18億1,761万円	1億3,968万円	16億7,793万円
増減	△27億8,085万円	△28億1,840万円	3,755万円	9,412万円	△5,657万円

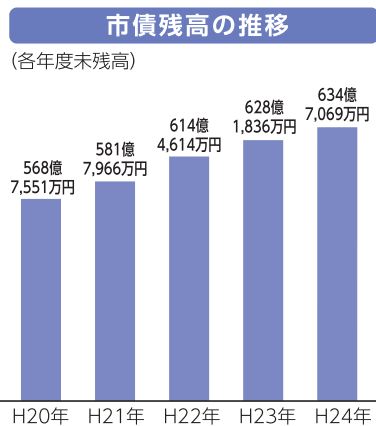
◎歳出の性質別決算状況 (普通会計)



- 【扶助費】 社会保障制度の一環として児童・高齢者の方などを支援する経費
- 【補助費等】 各種団体への補助金や負担金などの経費
- 【人件費】 職員給与、特別職報酬、共済費などの経費
- 【投資的経費】 工事や大規模修繕などの投資経費
- 【公債費】 市債の償還金
- 【物件費】 物品購入や業務委託、施設修繕などの経費
- 【繰出金】 特別会計などへの運営負担金
- 【投資出資貸付金】 他団体などへの投資・出資・貸付金
- 【積立金】 各基金への積立
- 【維持補修費】 公共施設等の維持補修費

◎市債(借金)の残高 (普通会計、平成25年5月31日現在)

項目	残高
公共事業等(道路、港湾等の整備)	23億9,574万円
公営住宅建設事業	9億4,260万円
教育・福祉施設等整備事業 (学校施設整備・社会福祉施設整備)	31億6,313万円
一般単独事業(道路、建物等の整備)	229億6,461万円
うち合併特例事業(市町村合併特例事業分)	137億 417万円
過疎対策事業(過疎計画に基づく施設整備)	31億2,924万円
県振興資金(各種施設整備のための県からの借入金)	4億6,315万円
その他	304億1,222万円
合計	634億7,069万円



市民1人当たり に使われたお金 約444,900円

(平成25年3月末現在の人口110,039人)
内訳の一部を紹介します

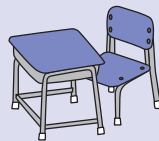
民生費

122,700円



教育費

54,100円



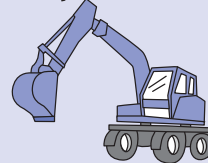
衛生費

51,500円



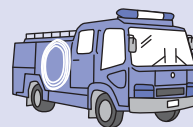
土木費

43,700円



消防費

20,100円



歳出の状況
歳出総額は489億5千439万円となり、前年度に対し28億1千840万円の減となりました。(4ページに続く)

歳入の状況

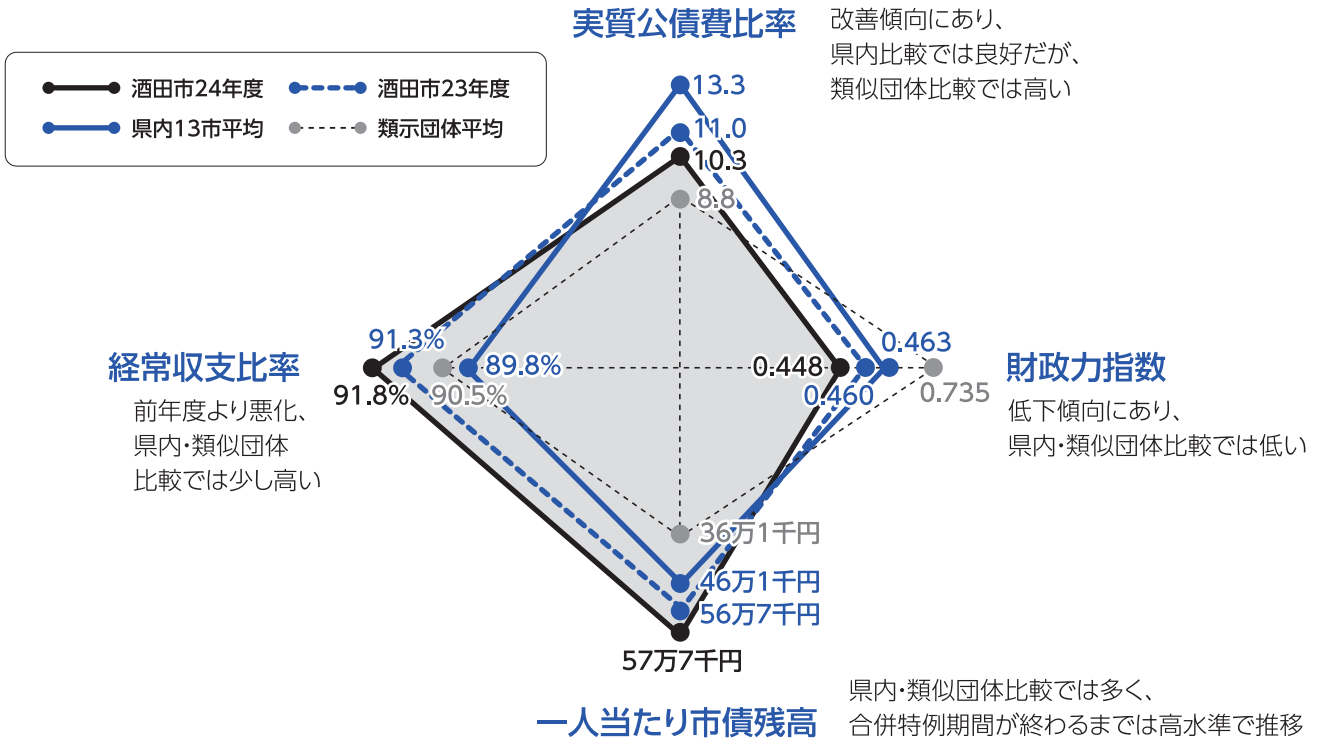
歳入総額は508億955万円となり、前年度に対し27億808万5千円の減となりました。個人市民税が税制改正による影響で6.8%の増、法人市民税が企業収益の回復傾向により6.9%の増となったものの、固定資産税が評価替の影響などにより6.4%の減となり、市税全体では1.0%の減となりました。また光ケ丘陸上競技場整備事業に係る総務債などの減により市債が8.6%の減、子ども手当から児童手当への制度変更や義務教育施設関連整備事業の縮小などにより国庫支出金が23.2%の減となりました。

年度への繰越事業に必要な繰越財源2億3千380万円を差し引いた実質収支では、16億2千136万円の黒字となり、健全な決算を得ることができました。

歳入の状況
歳入総額は508億955万円となり、前年度に対し27億808万5千円の減となりました。個人市民税が税制改正による影響で6.8%の増、法人市民税が企業収益の回復傾向により6.9%の増となったものの、固定資産税が評価替の影響などにより6.4%の減となり、市税全体では1.0%の減となりました。また光ケ丘陸上競技場整備事業に係る総務債などの減により市債が8.6%の減、子ども手当から児童手当への制度変更や義務教育施設関連整備事業の縮小などにより国庫支出金が23.2%の減となりました。

年度への繰越事業に必要な繰越財源2億3千380万円を差し引いた実質収支では、16億2千136万円の黒字となり、健全な決算を得ることができました。

◎財政指標の状況



- 【類似団体】 人口規模と産業構造の組み合わせが似通った都市。本市を含む、花巻市、土浦市など全国の88都市。
- 【経常収支比率】 経常的歳出(人件費、扶助費、公債費などの毎年必ず支払う経費)に占める経常的歳入(市税、譲与税、普通交付税などの毎年常に入ってくる財源)の割合。比率が低い方が自由に使えるお金が多いことになる。
- 【財政力指数】 標準的な行政活動を行う場合の支出に対し、市税等の標準的な収入でどれだけ賄うことができるかを表す。1を超えるか、1に近いほど余裕があることを示す。1を超える場合には、地方交付税が交付されないことがある。
- 【実質公債費比率】 公債費による財政負担の程度を示す指標。公債費の額を標準財政規模の金額で除して算出する。
18%以上の団体は、地方債の発行の際、県の許可が必要となり、25%以上の団体は、一般事業などの起債に制限がかかる。

◎市有財産の状況(平成25年3月31日現在)

土地	788万6,718平方 [㎡]
建物	50万6,826平方 [㎡]
山林	668万2,203平方 [㎡]
基金	144億6,538万円
有価証券	2億2,563万円
出資金・出捐金	8億8,967万円
預託金・貸付金	50億9,477万円
船舶(とびしま、し尿運搬船、飛島海中体験丸)	3隻
自動車	371台

◎平成24年度 公金の運用実績

本市の公金を定期預金などで運用しましたので、その実績をお知らせします。

区分	1日当たり平均運用額	運用収入	運用日数
歳計現金など	28億2,092万円	171万円	239日
基金	125億3,456万円	2,874万円	1年間

※歳計現金/市の歳入歳出に属する現金

義務的経費である人件費、公債費、扶助費は、障がい福祉サービス事業に係る介護・訓練等給付費の増などにより扶助費が増、合併特例事業債等の元金償還金の増などにより公債費が増となったものの、市立中央高校の廃止や定員適正化計画による職員数の減などに伴う人件費の減により、0.8割の減となりました。

投資的経費は、松原小学校や第二中学校の改築などの義務教育施設関連整備事業の縮小、光ヶ丘陸上競技場整備事業の完了などにより30.5割の減となりました。

その他の経費の主なものは、最上川下流沿岸地区国営農業水利事業負担金の減などにより補助費等が6.6割の減、酒田医療センターの増築・改修などに伴う地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構への長期貸付金の増などにより投資出資貸付が22.8割の増となりました。

財政指標の状況

市の借金である市債残高は、前年度に対し1.0割の増とな

2 平成24年度特別会計決算

会計名	歳入	歳出	収支
交通災害共済事業特別会計	3,152万円	2,724万円	428万円
国民健康保険特別会計(事業勘定)	121億1,463万円	120億6,547万円	4,916万円
国民健康保険特別会計(施設勘定)	8,751万円	8,351万円	400万円
後期高齢者医療事業特別会計	11億5,660万円	11億4,894万円	766万円
介護保険特別会計	109億3,473万円	109億5,620万円	△2,147万円
診療所事業特別会計	8,405万円	7,903万円	502万円
公共下水道事業特別会計	57億1,953万円	56億4,973万円	6,980万円
農業集落排水事業特別会計	12億1,005万円	11億9,535万円	1,470万円
合併処理浄化槽事業特別会計	9,182万円	9,182万円	—
駐車場事業特別会計	2,219万円	1,612万円	607万円
定期航路事業特別会計	2億4,520万円	2億4,520万円	—

3 平成24年度企業会計決算

◎水道事業会計決算

○貸借対照表(平成25年3月31日)

資産	267億8,858万円	負債・資本	267億8,858万円
固定資産	226億7,933万円	固定負債	17億 54万円
流動資産	41億 925万円	流動負債	4億9,148万円
		資本	245億9,656万円

○損益計算書(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

総収益	32億2,121万円	総費用	30億7,300万円
営業収益	30億3,489万円	営業費用	28億2,132万円
営業外収益	1億8,602万円	営業外費用	2億3,975万円
特別利益	30万円	特別損失	1,193万円
		純利益	1億4,821万円

◎病院事業会計決算

○貸借対照表(平成25年3月31日)

資産	18億3,093万円	負債・資本	18億3,093万円
固定資産	9億7,639万円	固定負債	28万円
流動資産	8億5,454万円	流動負債	6,228万円
		資本	17億6,837万円

○損益計算書(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

総収益	7億3,200万円	総費用	6億5,769万円
医業収益	5億5,330万円	医業費用	6億3,822万円
医業外収益	1億7,522万円	医業外費用	1,815万円
特別利益	348万円	特別損失	132万円
		純利益	7,431万円

本市が設けている特別会計の決算は、上表2の通りです。この他に、本市には水道、病院の2つの地方公営企業の企業会計があります。本市の企業会計の決算は、上表3の通りです。

平成24年度特別会計・企業会計決算

この結果、一人当たり市債残高も増となっておりますが、実質公債費比率(市債の返済額(公債費)の大きさを財政規模に対する割合で表したものは改善しています。これは、市債残高は増えているものの、地方交付税の振り替えである臨時財政対策債や、元金および利子の7割が後年度に地方交付税で措置される合併特例債など有利な市債が占める割合が多くなっているためであり、実質的な市民負担は軽減されていることを表しています。

しかし財政力指数や経常収支比率からは、市の財政力の低下や財政の硬直化の傾向がうかがえるため、今後も行財政改革に取り組み健全な財政運営を進めていきます。

会計名	予算現額	支出済額	執行率
一般会計	533億7,235万円	194億9,979万円	36.5%
交通災害共済事業特別会計	3,308万円	1,246万円	37.6%
国民健康保険特別会計(事業勘定)	123億1,040万円	51億 977万円	41.5%
国民健康保険特別会計(施設勘定)	8,980万円	2,822万円	31.4%
後期高齢者医療事業特別会計	11億5,742万円	3億9,809万円	34.4%
介護保険特別会計	109億1,403万円	46億6,570万円	42.7%
診療所事業特別会計	8,425万円	2,795万円	33.2%
公共下水道事業特別会計	52億3,156万円	18億9,249万円	36.2%
農業集落排水事業特別会計	13億 896万円	4億5,206万円	34.5%
合併処理浄化槽事業特別会計	1億2,298万円	3,731万円	30.3%
駐車場事業特別会計	2,636万円	933万円	35.4%
定期航路事業特別会計	3億2,380万円	1億3,538万円	41.8%

平成25年度の一般会計予算現額は533億7千235万円です。上半期の支出済額は194億9千979万円で、執行率は36.5%となっています。

新庁舎整備事業の着工や義務教育施設の耐震化改修などの継続、また大規模企業立地のための用地取得など、投資的経費に重点的に予算を配分し、過去最高となる積極予算となっています。また本市の最重要課題である「人口減少・少子高齢化対策」を解決するために、雇用の場の確保と産業振興に資する施策を積極的に展開するとともに、新行財政集中改革プランの計画的な推進などにより、引き続き健全な財政運営を行ってまいります。

◎病院事業会計予算上半期執行状況

	予算額	執行済額	執行率
病院事業収益	6億9,424万円	3億5,098万円	50.6%
病院事業費用	6億9,318万円	3億 880万円	44.5%
資本的収入	9,412万円	4,036万円	42.9%
資本的支出	1億 131万円	4,028万円	39.8%

前年度同期に比べ、収益は428万円の減、費用は565万円の増となっています。

今後も中山間地診療、在宅医療の充実を図るとともに、良質な医療の提供と経営の健全化に努めてまいります。

地域医療の充実など

八幡病院では、高齢者や慢性疾患、在宅患者さんが多いことから、外来、病棟、訪問看護ステーションなどとの連携を図りながら、地域医療の充実に努めています。

医療機器などの整備

大腸がんなどの検査・治療における受診者の負担軽減のため、挿入部がより細径化された大腸ビデオスコープや錠剤・散薬を自動的に分包する全自動調剤分包機の更新導入を進めています。



●平成25年度予算 重点項目紹介

1.大いなる飛躍に向けた社会基盤整備

- (1)山形新幹線の庄内延伸
- (2)高速交通網の整備促進
- (3)酒田駅前整備



豊里十里塚線・新内橋の整備

2.賑わいと活力、雇用を生み出す産業の振興

- (1)地元企業支援と企業誘致
- (2)魅力あふれる農林水産業の振興
- (3)八幡・松山・平田地域と離島振興
- (4)地域活性化を促す 観光・商業・文化・スポーツの振興



花き栽培の勉強会

3.市民の元気があふれるまちづくり

- (1)安心して子どもを産み育てる環境の充実
- (2)次代を担う人材の育成と国内外の交流の拡大
- (3)地域で支え合う福祉のまちづくり



国際交流まつり

4.安心が実感できる生活基盤整備

- (1)地域における防災、減災体制の強化
- (2)新市庁舎の整備
- (3)地域医療体制の充実
- (4)空き地、空き家の適正管理
- (5)生活基盤の整備



標高表示板の設置

5.持続可能な地域基盤の強化

- (1)再生可能エネルギーの活用に向けた地域施策の強化
- (2)効率的な行政運営と健全財政維持のための財政基盤等の強化



行財政集中改革プラン推進委員会

◎水道事業会計予算上半期執行状況

	予算額	執行済額	執行率
水道事業収益	30億2,395万円	15億2,991万円	50.6%
水道事業費用	28億6,868万円	7億3,837万円	25.7%
資本的収入	2億8,016万円	2,483万円	8.9%
資本的支出	16億4,390万円	6億4,067万円	39.0%

水道局では、安全な水を安定的にお届けするために、さまざまな事業を行っています。今後もより一層の業務改善を図り、健全経営の持続に努めます。

水道施設の更新

今年度は約4キロメートルの水道管を更新する予定です。この他に、酒田地区中心市街地の老朽管更新工事(平成29年度まで)、八幡簡易水道地域での簡易水道再編推進事業(平成27年度まで)を行っています。



水道モニター制度

お客様の声を事業運営に反映させるために、水道事業についての研修、浄水場などの施設見学、水道事業に関するアンケート調査など、今年度は15人の方々から活躍していただいています(毎年6月公募)。



水道ホームページ

<http://www.water.sakata.yamagata.jp/>

水道料金や諸手続きの他、水道便利ガイド、水のトリビアなどの水道に関する情報を掲載しています。

